

KYOSHINKAI INNOSHIMA

2025.7
No.288

郷心会 KYOSHIN KAI
因島郷心会

5/11(日) 因島・尾道・三原郷心会合同チャリティゴルフコンペ開催

開催場所：久井カントリークラブ

因島郷心会では、5月11日(日)に尾道・三原郷心会と合同でチャリティゴルフコンペを、因島7会員10名様(全体14会員31名様)で開催いたしました。

会場となりました久井カントリークラブは2週間前より電磁誘導カートが導入されており、より便利になっておりました。

当日は、天候にも恵まれたプレーしやすい日ということもあり、多くの会員様は実力を出され、因島郷心会会員の方の「この度は因島が上位を独占したい」との言葉もありました。結果は個人もチームも因島が優勝となりました。

閉会式では、この度も全て会員様賞品を並べながら、順位・ドラコン賞・ベストスコア賞等の発表を行い、順次商品を渡して行きました。

チャリティ募金は、後日(社)三原市社会福祉協議会に寄付いたしました。



5/31(土) サンフレッチェ広島(対川崎フロンターレ戦)観戦会開催

開催場所：エディオンピースウイング広島

因島郷心会では、5月31日(土)にサンフレッチェ広島観戦会(対川崎フロンターレ戦)を12会員36名様で開催いたしました。

昨年から新しくなった球場ですが、初めて観戦される方も多かったようです。試合は、前半をスコアレスで折り返しましたが、後半早々に川崎フロンターレのマルシーニョ選手にヘディングシュートを決められました。しかし、それからはサンフレッチェ広島が攻撃を仕掛ける場面が多くなり、終盤に荒木選手の得点で何とか同点にし、このまま終わるかと思われたアディショナルタイムに川崎フロンターレの佐々木選手にゴールをゆるし、惜しくもサンフレッチェ広島は敗れ連勝も5で止まってしまいました。

負けはしましたが、参加会員様も終始目がは放せない展開に興奮し、最後まで見て頂けたのではないのでしょうか。



カーブ観戦会開催 6月1日(日)阪神戦・22日(日)東北楽天戦

開催場所：ZOOM-ZOOM スタジアム広島

因島郷心会では、カーブ観戦会を6月1日(日)阪神戦14会員45名様、22日(日)東北楽天戦14会員38名様で開催いたしました。阪神戦の試合内容は、カーブ先発の森投手が初回に阪神森下選手に豪快な一発を浴び先制され、終盤には佐藤選手のホームラン他で着実に加点されました。打線の方は先発の伊原投手を始めとする4人の投手陣に8-0で完封され、ストレスのたまる試合となった会員様も多かったでしょう。

東北楽天戦の方もカーブ森投手が先発で、この試合も東北楽天に先制を許しましたが、こちらの方は昨年二桁勝利の藤井投手他の東北楽天投手陣を攻め、4回と7回のチャンスを生かし計5点を取り、カーブが5-2で勝利しました。この勝利で交流戦も5分の星となり、セリーグ唯一負け越さなかったという意味で価値ある試合でした。この試合は会員様も満足できる試合になったのではないのでしょうか。



6/27(金) 因島郷心会通常総会開催

開催場所：ホテルいんのしま

因島郷心会では、6月27日(金)に通常総会をホテルいんのしまにて開催いたしました。参加者は40会員様、来賓、マツダ関係者を含め全体では58名となりました。

議案は①令和6年度事業報告及び収支決算報告②令和7年度事業計画(案)及び予算についてで、いずれも承認されました。

会議に続いて開催されたマツダレポートは、マツダ国内マーケティング部の講師を招き、「ひと中心のクルマの価値」研究をテーマに講演していただきました。

交流会では尾道市因島総合支所長の清玄様にも参加いただき、交流を深めました。



6/29(日) 因島・尾道郷心会合同魚釣り大会開催

開催場所：尾道近郊

因島郷心会では尾道郷心会と合同で6月29日(日)に魚釣り大会を因島2会員2名様(合計10会員12名様)で開催いたしました。

ペイタウン尾道南側の尾道総合卸センター魚市場前棧橋を6時前に出発の参加者は、船頭の桑田観光様に釣り場を委ね、15時くらいまで釣りを楽しめました。

最初にくじで引いた船の場所に影響があったかは判りませんが、優勝は62匹を釣り上げた因島郷心会の会員様でした。

私は見送りしかできませんでしたが、早朝からの参加ありがとうございました。



仕事内容は、鈴木様が「水の中の何でも屋」と言われましたように、水中土木工事、調査工事、保守・点検・修繕等を行うことは多岐に亘っています。通常、陸上で行う工事を水中で行うイメージだと教えていただきました。もちろん危険も

伴う仕事ですので、安全に仕事をを行うための資格を取らなければならない。講習を受講する等、最大限安全面に配慮しているとのことでした。また、工事自体は陸上の3〜4倍の時間が掛り、難しい点は多いということですが、「例えば瀬戸内海では潮流や干満を考慮して業務を行わなければならない」「波にゆられる等、陸上と比べ業務に制約がある」と鈴木様は言われました。仕事内容も前述のように種類も多いため水中工事の大変さを伺うことができました。



因島の職人
株式会社 備後海事
代表取締役
鈴木信也様

水中土木工事・調査工事での海の開発を支える。



「従業員様は入社された後、どんなことから始められるのですか」とお聞きいたしますと、まずは、潜水の訓練からはじまり、型枠工事等様々な工事を順番に覚えていきます、ということでした。水の中では俊敏に動くことも出来ない、簡単な仕事ではないため経験も必要になる専門的な仕事です、と教えていただきました。

鈴木様は、現在も新潟や山形で仕事されている従業員も居られると言われましたが、県内外問わず様々な現場で仕事ができること、陸上での準備や水中での仕事の種類も多く、仕事に飽きないことが楽しい点だとも話されました。特殊な多くの種類の仕事を全国各地で展開していただけるということが判ります。

鈴木様の趣味はゴルフで、ストレス発散にもなるし、お客様とラウンドすることも多々あるとのことでした。郷心会主催のゴルフ大会にも興味を持ってもらえたいので、次は是非ご参加いただきたいです。

株式会社 備後海事



尾道市因島重井町5803-3
TEL 0845-24-1915

最後に鈴木様は、今後は、長年お付き合いのある企業様を大事にすることはもちろんですが、「新たな取引先を新規開拓していきたい!」「県外の仕事もさらに積極的にやりたい!」「今迄とは違う新しい事業も検討したい!」等、チャンスがあればなんでも挑戦したいと今後の仕事に対する思いを教えてくださいました。

お客様との信頼関係で成り立っている「お客様への要望には全力で応え、常にベストを尽くすことを心掛けています」と言われていました。



マツダ車展示会



4月2日(水)
因島商工会議所



5月26日(月)
尾道市役所 因島総合支所



5月30日(金)
因島鉄工業団地協同組合



6月20日(金)
株式会社アイメックス

CONTENTS

■開催イベント

- ・因島・尾道・三原郷心会合同チャリティゴルフコンペ
- ・サンフレッチェ広島(対川崎フロンターレ戦)観戦会
- ・カーブ観戦会 6月1日(日) 阪神戦・22日(日) 東北楽天戦
- ・因島郷心会通常総会
- ・因島・尾道郷心会合同魚釣り大会

■会員様紹介

- ・因島鉄工業団地協同組合 様

■島のお店

- ・B.B.HAIR ASAHI 様

■因島の職人 匠

- ・株式会社 備後海事 様

■マツダ車展示会

- ・因島商工会議所
- ・尾道市役所 因島総合支所
- ・因島鉄工業団地協同組合
- ・株式会社アイメックス

因島郷心会

尾道市因島土生町1762-38 因島商工会議所2階
TEL (0845) 22-7357 E-mail:innoshimakyo@mazda.co.jp

印刷：相方印刷株式会社 2025年7月発行



因島郷心会QRコード

Pick up

会員様紹介

因島鉄工業団地協同組合
理事長
柏原秀幸様



今回は、因島鉄工業団地協同組合をお訪ねし、理事長の柏原様に話を聞かせて頂きました。

因島鉄工業団地内の企業様に頼りにされ、因島の造船に関わる企業様の組合だと思いが、組合のメリットを教えてください。

当組合は、因島の造船・鉄工業に関わる企業が集い、互いに連携し合うことで共通の課題を乗り越え、技術力を高めていく場として機能しています。単独企業では対応が難しい大型受注や、環境・安全への対応、行政等との調整も、組合としてのスキルメリットを活かすことで可能となります。最近では人材育成やデジタル化に向けた研修も進めており、地域に根差した産業クラスターとして、企業からの信頼も厚く「相談すれば何とかなる」と思っていただけの存在を目指しています。

他の組合(生協・農協他)と違う点はどこよつなところでしょうか。



当組合の大きな特徴は、参加企業同士が直接的に「ものづくり」の工程で関わり合い、技術的な連携を通じて事業を支えている点です。一般的な協同組合が「購買」や「販売」「生活支援」に重きを置くのに対し、当組合は「製造連携」と「技術継承」が大きな役割を果たしています。また、団地内での情報交換も活発で、自然災害時の相互支援にも取り組んでいます。単なる組織ではなく、「ひとつの工業団地としてのチーム」という意識が根付いていることが、他組合との違いだと思います。

安全対策等にも力を入れていると思いますが、どのような取組みがごさいますでしょうか。

安全対策は、組合として最も重視している取組みのひとつです。年に数回、安全講習会、熱中症や作業中の事故防止に関する勉強会を開催し、団地全体で「ゼロ災害」を目指しています。また、各企業の安全管理責任者が定期的に集まり、事例共有や改善提案を行う「安全連絡会」も実施してい

ます。近年では、若手社員への安全教育にバーチャル・リアリティによる体験型安全教育等、新たな試みにもチャレンジしており、現場の意識向上につながっています。

組合ならではのセールスポイント、また問題にされていることがあれば教えてください。

組合の最大の強みは、企業同士の「信頼関係」に基づく横の連携です。製造工程における一貫対応や、繁忙期における応援体制の構築等、単独では難しいことも、組合内での協力体制により実現しています。最近ではSDGsやカーボンニュートラルへの取組みにも共同で向き合い始めています。一方で、組合として大きな課題となっていますのが、若手人材の確保と業界の魅力発信です。どうすれば「働いてみたい」と思ってもらえるか、団地全体でのブランディングや働きやすさの整備に取り組んでいる最中です。

今後やりたいことはありますか。

今後は、より広く地域や若者に「因島の



B.B.HAIR ASAHI

島のおみせ

本日は、重井町でビューティーサロンを営まれている西山様をお訪ねし、お話を聞かせていただきました。

店舗の敷地内に入りますと、多くの花や植物が植えられ、先ず、目から癒されます。

店舗内はコンパクトながら非常に計算された設計になっており、透明の格子扉の奥には庭も広がっております。店舗は、電気・水道工事以外すべて店主の西山様がDIYで棚や椅子、机、廊下にいたるまで木を使って作られたとことで、そのこだわりとひとつひとつの作品に驚きます。

B.B. HAIR ASAHI様は、完全予約制・紹介制で営業されており、2018年の開業以来、お客様の口コミや紹介で営業を続けておられ、完全予約制でお客様一人一人の時間を大切にしている思いから一度椅子に座ったお客様は、一切動くことなく整髪が完了するように考えて店舗設計をされているということでした。



西山様は、お客様が予約された後、そのお客様にあつた整髪の準備をされるそうです。技術を提供するのは当たり前、心からキレイになって帰ってもらえる

るように様々な整髪を考える、ということでした。



店舗外にある自作のベンチ

また、お客様からの要望も大切にしたいため、過去には、「美空ひばりの音楽をかけて欲しい」と言われ、応えられたということでした。西山様は「お客様には時間をもらっている」「髪を通してお客様に満足していただけたらうれしい」ということでした。

店舗名につきましては、BeautyとBarberの頭文字をとってB.B.とされASAHIは、店舗DIY中にお店の前にのぞむ白滝山から昇る朝日を見て毎日元気をもらっていたことが由来ということでした。

次に、西山様ご自身についてお聞きいたしますと、出身は福岡県で、15歳から美容業界に入られ、業界歴は41年にも上るとのことでした。二度の開業やフランチャイズの会社経営を経られ、47歳の時に従業員に自身が経営する店舗を譲り、その年に因島に来られ今のお店を構えられたそうです。



尾道市因島重井町2798-3
営業時間 9:00~18:00
定休日 月曜日及び
第1・3日曜日、第2・4火曜日
TEL 0845-25-6475

B.B.HAIR ASAHI

「この土地には地域の先輩が築いて来られたものがある」「因島は力をもらえる場所」と謙虚な考えでした。西山様は農業にも興味をもって「食も含め内面からも健康を意識、身体に気を付け、そしてきれいに」ということを考えて行きたいと言われました。



ビビットなカラーで塗装された玄関

最後に郷心会イベントへの要望をお聞きいたしますと「郷心会会員様のトップだけでなく会員様同士の交流を促す場、発信の場があればいい」「いろんな人が集まれるようなイベントを考えてほしい」と言われました。予算も含め私にはハードルが高い要望でした。

本日は、西山様、及び店舗の知らなかった部分をかかり知ることができました。B.B. HAIR ASAHIは「心からきれいになる」「満足して帰れる」そんな癒しの空間のような気がします。

因島水軍まつり

INNOSHIMA SUIGUN MATSURI

会場：因島アメニティ公園 しまなみビーチ

海まつり 8/31 (日) UMI-MATSURI

島火まつり 9/20 (土) SHIMA-HI-MATSURI

島はっさくくん

主催：2025 因島水軍まつり実行委員会 TEL 0845-26-6212
後援：(一社)広島県観光連盟 NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ 広島県庁 尾道市 尾道エフエム放送 ちびCOM
詳しい情報は「因島水軍まつり」で検索。

因島水軍まつり INNOSHIMA SUIGUN MATSURI 2025

会場：因島アメニティ公園 しまなみビーチ

海まつり 8/31 (日) UMI-MATSURI

島火まつり 9/20 (土) SHIMA-HI-MATSURI



ものづくりの価値」を伝えていきたいと考えています。具体的には、小中学校や保護者を対象とした工場見学や職場体験の機会を拡充し、「ものづくり」に対する興味関心を育てる活動に力を入れていきます。また、団地内の情報通信技術の活用や、省エネルギー化、自動化設備の導入支援等、各企業の競争力を高める取組みも組合として後押ししたいと考えています。さらに、異業種との連携による新分野開拓も視野に入れ、産業基盤の強化と未来への投資を進めていきます。

取材後には、柏原理事長自ら、団地内の製造工程や作業内容を案内いただきました。各現場それぞれ特徴があり作業内容も異なるため、団地内を回っております。「ものづくりのテーマパーク」に来たような楽しさがありました。



尾道市因島重井町474-1
TEL 0845-25-1151

因島鉄工業団地協同組合